



立川市立第六小学校 学校だより

ひまわり



立川市立第六小学校

〒190-0021

東京都立川市羽衣町2-29-22

TEL 042 (523) 5248

FAX 042 (529) 0859

校長 田中光晴

令和7年

6月号



“環境が人をつくる” ~ 6月「環境月間」に思いを寄せて ~

校長 田中光晴

初夏の爽やかな風が心地よい季節の6月に入り、第1学期も折り返しの時期になりました。

先月は、ゲスト・ティチャーを招いての2年生活科・苗植え、3年立川市民科・環境教育のヤゴ救出作戦、同じく4年ホタルの飼育、学校公開日全学年の安全指導(セーフティ教室)、1年生活科・錦第三公園への校外学習、5年立川市民科・ファーレ立川見学や6年日光移動教室等々、立川や他地域のゲスト・ティチャー等の人的環境や自然環境を生かした、体験的な学習活動に取り組んできました。



6年日光・戦場ヶ原でのハイキング

今月は「環境月間」で、国連では毎年6月5日を「世界環境デー」と定め、広く環境保全についての关心と理解を深めることを目的とし、世界中で環境保全に関わる様々な行事が催されます。

地球規模の環境に思いを巡らせながら、まずは目の前の子供たちの環境に目を移してみたいと思います。子供たちを取り巻く生活環境について考えると、家庭・学校・地域社会という分け方ができるでしょうか。いわゆる家庭教育・学校教育・社会教育と呼ばれる、児童に関わる教育主体の領域に当てはまります。「環境が人をつくる」という言葉があります。長い期間、同じ環境で生活を共にしていると、知らず知らずのうちに話し方や考え方、嗜好等、価値観や生活スタイルまで似てくるらしいです。私自身の家族を顧みても、思い当たる節が多分にあります(まあ、「遺伝でしょう」と片づけられる部分も多いですが…). 良くも悪くも、幼少期の子供たちにとって、自身を取り巻く環境から受ける影響には大きなものがあります。子供たちを育む我々大人が、日常における関わりの中で、その時々に応じて適切に判断し、最適な環境を与えて続けていくことの積み重ねが、「良き環境が、良き人を作る。」ことに繋がるのだと思います。

「子供たちにとって良い環境とは」と問うてみて、簡潔に回答を得ることは難しいとは思いますが、「良い学校教育環境」と限定して考えるならば、それは「常識的可能な範囲において、①安全・安心が確保され、②多様な興味・関心、個性や発達段階に対応でき、③知育・德育・体育の側面に均衡に指導が行き届き、④社会性の醸成や既得の知識・技能を活用して適度な困難さを伴いながらも課題解決を図ることができる活動の場が用意され、⑤自他の成長や存在を肯定的に捉え、共に関わり合いながら学習や生活への高いモチベーションを維持できる環境」と考えます。学校では日常の学習指導や生活指導の充実を基盤に、冒頭の身近な人・もの・自然等、環境に働きかける多種多様な体験活動や、学校外教育力の効果的活用、施設・設備面の最適化等、ソフト・ハードの両面から教育環境の向上に努めています。今後も“良き家庭教育”、“良き社会教育”との連携を図りながら、学校教育環境の更なる充実を目指していきます。

「環境が人をつくる。」の言葉のとおり、良き環境が良き子供たちを育み、良き子供たちが良き大人へと成長し、その後良き地域の担い手となっていくものと信じます。そしてさらには、環境問題をはじめとした様々な地球規模の問題解決に向け、多様な人々と協働して創造的に問題に対峙できる、持続可能な社会の創り手へと成長しゆく子供たちの姿に思いを馳せつつ、今月の環境月間を過ごしていきたいと思っています。